

エピソード かかわり方を考えよう！

子ども同士のけんかに親がかかわり

—

ナレーシヨン 裕太君は小学一年生。お母さんからみると

優しい子ではありますが、少々気が小さいようで、

クラスでも思ったことがはつきりと言えない点が心配です。

でも、毎日元気に「行ってきます」と言って

学校に出かけていきます。

また俊夫君という友だちの話も聞いていたので、

学校もまあまあ楽しいのだろうとお母さんは

安心していました。ところが・・・

母 「お帰り！おやつあるわよ、食べる？」

裕太 「いまいいよ、後で食べる」

ナレーシヨン 裕太君は、そのまま自分の部屋に行ってしまった。

普段なら嬉しそうに、おやつを食べるはずです。

いつもとは違う様子が、お母さんは気になりました。

そこで、裕太君の部屋の前まで行ってみました。

ぬ
く



4枚目のイラストの裏に貼ります
かかわり方を考えよう！